

2025年10月10日

日本空港ビルディング株式会社

一般社団法人全国清涼飲料連合会と協働イベントを開催 羽田 de リサイクル ～ペットボトルは、ボトルからボトルへ～ Close the loop! (循環させよう!)



日本空港ビルディング株式会社（以下、当社）は、10月の3R推進月間^{*1}に合わせて、2025年10月17日（金）～19日（日）の期間、一般社団法人全国清涼飲料連合会（所在地：東京都千代田区、会長：本庄大介、以下「全清飲」）と協働で、ペットボトルの水平リサイクル「ボトル to ボトル」の啓発イベントを開催します。

当社および当社グループは、極めて公共性の高い羽田空港旅客ターミナルの建設、管理・運営を担う企業グループの責務として、「限りある資源の有効活用」を経営の重要課題（マテリアリティ）に掲げ、3Rの考え方に基づく資源循環および廃棄物の抑制に取り組んでおります。

その一環として、2024年度には、第1・第2・第3ターミナルのすべての箇所にペットボトル専用の回収箱を設置し、お客さまのご協力のもと、約250,000kg（推計値。500mlペットボトル約1,136万本分）のペットボトルを回収いたしました。また、同年10月には第1・第2ターミナルの一部箇所にペットボトルキャップ専用の回収箱も設置し、分別回収を推進しております。

全清飲との協働となる本イベントは、本年度で3回目となります。年間約8,600万人以上のお客さまが訪れる羽田空港でイベントを開催することにより、水平リサイクル「ボトル to ボトル」の認知拡大と、資源となるペットボトルの分別回収のさらなる推進を図ってまいります。

水平リサイクルは、石油由来の資源を使ってペットボトルを製造する場合と比較して、約60%のCO₂削減効果が可能^{*2}とされています。当社および当社グループは、今後もペットボトルの分別回収とリサイクルスキームの確立、「ボトル to ボトル」の実現に努め、サプライチェーン全体での脱炭素化に貢献してまいります。

^{*1}：「3R」 Reduce（ごみを減らす）、Reuse（繰り返し使う）、Recycle（資源として再利用する）の頭文字、3つのRの総称。

「3R推進月間」循環型社会の形成に向けて、環境省を含む関係8府省が10月を推進月間として制定している。

^{*2}：原料採掘からプリフォーム（ペットボトルの原型となる中間製品）製造の工程までにおける削減率（日本コカ・コーラ社調べ）

【イベント概要】

■期間： 2025年10月17日（金）～19日（日）

■場所： 羽田空港第2ターミナル 5階 フライトデッキトキョー

■内容：「ボトル to ボトル」の取り組みに関するポスターセッション、飲料配布（なくなり次第終了）など
10月17日・18日は大田区公式キャラクター「はねぴょん」も来場予定

<詳細>

今年度は、「ボトル to ボトル」の取り組みについて楽しく学んでいただけるポスターセッションを開催します。ご来場の皆さまに、当社および全清飲より羽田空港旅客ターミナル内のペットボトル分別回収やリサイクル等の事例のご紹介や、水平リサイクルの仕組みをご説明し、お話をお聞きいただいた上で簡単なクイズに答えていただいた方には、オリジナル缶バッジをプレゼントいたします（なくなり次第終了）。



オリジナル缶バッジを1つプレゼント！

※内容は予告なく変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

本件に関するお問い合わせ：

日本空港ビルデング株式会社 サステナビリティ推進室 TEL：03-5757-8064 9:00-17:30（土日祝除く）

メディアからのお問い合わせ：

日本空港ビルデング株式会社 企画管理本部 総務グループ 広報・ブランド戦略室
TEL：03-5757-8030 9:00-17:30（土日祝除く）